

報告事項カ

令和4年度中学校トークプログラムの実施結果について

令和4年度中学校トークプログラムの実施結果について、別紙のとおり報告します。

令和5年4月19日

鳥取県教育委員会教育長 足 羽 英 樹

令和4年度中学校トークプログラムの実施結果について

社会教育課

1 事業の趣旨・目的

- 地域の大人、大学生、中学生がグループになり、働き方や生き方などのテーマについて自由に話し合うことを通して、中学生が自分たちの地域で活躍する大人の多様な価値観を知り、社会への興味・関心を高めるとともに、少し先の目標を考えることができる資質を身に付ける。
- 地域の大人や大学生が、中学生にとっての身近なロールモデルとなって参加することで、地域の学校の教育に対する興味・関心を高める。

2 実施状況（6市町、10校）

実施日	実施校	参加人数
6/28(火)	伯耆町立岸本中学校	130人(中3:67人、地域の方:39人、大学生:24人)
9/22(木)	米子市立美保中学校	94人(中3:52人、地域の方:26人、大学生:16人)
11/13(日)	鳥取市立東中学校	192人(中2:125人、地域の方:35人、大学生:32人)
11/19(土)	鳥取市立千代南中学校	55人(中2:20人、地域の方:11人、大学生:24人)
11/19(土)	日野町立日野中学校	91人(中1~3:46人、地域の方:24人、大学生:21人)
12/3(土)	鳥取市立気高中学校	94人(中2:45人、地域の方:21人、大学生:28人)
12/9(金)	米子市立湊山中学校	171人(中2:111人、地域の方:46人、大学生:14人)
2/6(月)	伯耆町立溝口中学校	55人(中2:25人、地域の方:14人、大学生:16人)
2/10(金)	江府町立奥大山江府学園	57人(6、7年生:27人、地域の方:14人、大学生:16人)
2/24(金)	境港市立第二中学校	194人(中2:100人、地域の方:56人、大学生:38人)

3 実施結果

- 中学生へのアンケートで自己肯定感や、地域への貢献意識等について実施前後に尋ねたところ、すべての項目においてプログラム実施後の肯定的回答が実施前を上回った。

※アンケート結果抜粋（詳細は別添のとおり。）

アンケート項目	肯定的回答		増減 (B)-(A)
	実施前(A)	実施後(B)	
自分の行動により自分の周囲の状況を少し変えられるかもしれない	64.2%	84.3%	20.1%増
私は自分の将来に希望を持てる	63.7%	84.8%	21.1%増
両親や先生以外の大人の人に進路選択について相談したいと思う	51.9%	70.1%	18.2%増
地域で起きている問題や出来事に興味がある	56.5%	75.6%	19.1%増
地域をよりよくするために何をすべきか考えたいと思う	66.5%	83.5%	17.0%増

- 地域の大人及び大学生のアンケートでは、ほとんどの方がプログラムを「良かった」「また参加したい」と評価し、地域の大人の中学生への理解が促進されたことがうかがえる。（良かった：地域の大人 98.6% 大学生 99.0%、また参加したい：地域の大人 92.3%、大学生 96.6%）

4 参加者の感想（アンケート自由記述より）

(中学生)

- ・自分の将来や未来について、こうしたいとかの考えはあっても、それが本当に正しい事なのかとか、このままいって大丈夫なのか、考えても不安なことばかりで、自分の考えを人に伝えたり発表したりできなかったけれど、今日のトークプログラムで大学生や地域の方々が優しく接して下さったおかげで、自分から意見をたくさん言うことができました。いろんな考えを聞いて自信もついたり、今まで考え付かなかったような意見もたくさんあって、とてもいい機会だったと思う。

(地域の大人)

- ・中学生と対面で話すことができてよかった。中学生が地域とのつながりが大切だということを少しでも理解でき、またそれに大人たちがどういう風にかかわっていくかということが再認識できた。

(大学生)

- ・ファシリテーターとしての経験を積めたことはもちろんだが、人生の先輩や中学生の声を聞くことで沢山の学びと感動があった。ますます教員になりたいと思えた。

令和4年度中学校トークプログラム 中学生アンケート集計結果

プログラムを実施した10校で参加した生徒を対象として、プログラムの前後に同一のアンケートを実施した。（参加生徒618人の回答を集計）

□とてもそう思う □まあそう思う □あまりそう思わない □全くそう思わない

